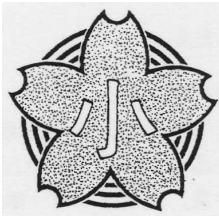


春日部市立桜川小学校



学校だより

2月号 平成31年2月1日発行

春日部市大倉496-1 TEL 746-6238 児童数691名(2/1現在)

桜川小HP <http://www.sakuragawa.av-center.kasukabe.saitama.jp>

学校教育目標

- 進んで学ぶ子(かしこく)
 - 思いやりのある子(やさしく)
 - 体をきたえよく働く子(たくましく)
- ～地域と共に歩む
笑顔あふれる活力ある学校～

←桜っ子日記、毎日更新中！

「ありがとう」の言葉

先日、風の強い寒い日のことです。一年生が持っていたカードが強い風に飛ばされ鍵のかかったフェンスの内側に入ってしまった。鍵を開けプリントを取って渡すと、その一年生は「ありがとうございました！」と元気な声でお礼を言って戻って行きました。一年生ながらハッキリとした口調でお礼の言葉が言えるその態度に感心したこと、「ありがとう」と言われた時のすがすがしい思いが印象的なできごとでした。

「ありがとう」は相手に感謝の気持ちを伝えるためのたった一言ですが、その言葉には相手を幸せにする不思議な力があるものです。同時に「ありがとう」を言える時は、自分たちのために、誰かが何かをしてくれていることを実感できる幸せな時でもあります。



(一昨年のありがとう集会)

今月は「ありがとう集会」が開かれます。子供たちが日ごろ、お世話になっている方々に感謝の思いを伝える集会です。桜川小では、数えきれないくらい多くの方が、子供たちのために活動されています。支援員さんや業務員さん、PTAの本部はじめ保護者の方々、子供たちの通学見守りの保護者の方や交通指導員さんや交通ボランティアなどの地域の皆さま、子供たちのために休日に作業してくれるおやじの会の方々、図書ボランティアさん環境ボランティアさん、アフタースクールのコーディネーターや講師ならびにボランティアの保護者の方々、学校評議員さんや児童委員民生委員さん……等々、たくさんの方が桜っ子たちの笑顔を守ってくれています。集会では時間や場所が限られるため、お世話になっている一部の方をお招きするにとどまりますが、子供たちは「ありがとう」の気持ちを伝えようと準備に取り組んでいます。心をこめて「ありがとう」を伝えようとしています。

(笑顔がツボの本校ルートマーク)

お一人ずつの方に直接「ありがとう」の言葉をお伝えできる場面も少ないのですが、子供たちも職員も、桜川小を支えてくださる多くの方に「ありがとう」の気持ちをもって日々の活動に励んでいます。(文：教頭 柿澤英和)



2月の生活目標

広がらないように歩こう

☆日々の学校～桜っ子たちの笑顔☆



1/8(火) 始業式
新しい学期の始まりです。2年生が代表して目標を発表しました。



1/15(火) 6年・社会科見学
小学校最後の校外行事です。東京の国会議事堂・科学技術館へ。



1/23(水) 避難(ショート)訓練
業前の時間に地震の想定で避難行動をとる訓練をしました。

地域の方との交流



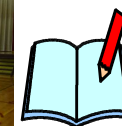
1/18(金) 4年・福祉体験
4年生が、講師の方をお招きして手話の学習をしました。クイズ形式で動物の名前など考えました。



1/24(木) 新一年生と交流
来年度入学する幼稚園・保育園の年長さんが来校しました。迎えた一年生がメダルを渡したりしました。



1/24(木) 他校の先生の来校
近隣の庄和高校・葛飾中・こばと幼稚園・第一保育所の先生方が本校の授業を参観しました。



☆☆ 「おやじの会」の活動 ☆☆

「子供たちの笑顔のために」を合言葉に、おやじの会の方々が活動してくれています。今年は正門の塗装、ジャンピングボード・跳び箱運搬台・一年生用の踏み台の作成、等々、多くの活動をしていただきました。



↑ 跳び箱運搬台



↑ ジャンピングボード



↑ 踏み台の作成

講座のご案内(春日部市生涯学習市民塾)

～『身近になった半導体工学』～

- 【第1回】3/16(土) 【第2回】3/23(土)
- ・各回とも13:30～15:30(場所：正風館)
- ・小学4年生以上・30名(保護者同伴可)
- ・講師：米井 健治氏(桜川小学校囲碁将棋クラブ講師) ※費用は無料です
- ・申込 2/6～講座開催の7日前までに、教育センター社会教育課生涯学習推進担当まで電話で(TEL 048-763-245)
- ※半導体を利用した太陽電池、LED電球など、生活に役立つ楽しいお話です。

毎週日曜日は『子供をほめる日』

毎週日曜日を『子供をほめる日』とし、保護者の方々が子供達のよいところをたくさん見つけ、誉めましょう。

[交通事故にご注意ください]

学区内は、道がせまく車の通りも多いです。子供たちの通学も、先生たちや地域の方が見守っています。保護者・地域の皆さまも、歩行・自転車・車、いずれの時も、交通事故にはじゅうぶんお気をつけください。

【平成31年度 埼玉県教科用図書選定審議会委員の公募について】(埼玉県教育委員会より)

教科書の採択について県民の皆様から意見を述べていただく機関です。県内小中学校の児童生徒の保護者の方が対象です。応募票と作文を提出(2/8必着)、面接による審査があります。 ※関心ある方は桜川小・教頭までお問い合わせ下さい。